

(様式1)

北海道士幌高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和8年度に重点化する取組及び具体的方策		
5つのミッション 8つの行動計画		行動計画の中で重点化する取組	目標達成 期 間	具体的方策
I グローバル教育で 人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 『志』プロジェクトを活用した、生徒の個々の目的意識の向上 (2) プロジェクト学習を中核とした PDCA サイクルを意識した活動	A	○『志』プロジェクトの実践を通じたキャリア教育の充実を図る。 ○教科・科目の学習において PDCA サイクルを活用し、科学的なものの方眼を育成する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 普通教科との連携による外国語学習の充実 (ALT の活用) (2) GAP と HACCP の実践と発信 (3) アメリカ合衆国やキルギス共和国との生徒・教員間の交流	B	○町の英語教育と連携し ALT を活用した活動を行う。 ○GAP・HACCP 等の適用を SNS による広報及び教育活動へ活かす。 ○諸外国との対面やオンラインによる交流を行う。
II 地域社会・産業に 寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域の農業経営のモデルケースとなるような取組の実践 (2) IoT を活用した農作業の見える化・効率化の検討	B	○ドローンやトラクタの自動操舵など、機械とインターネットを繋いだ新しい農業技術を積極的に習得する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域食材を用いた加工食品の開発とマーケティング学習の実践 (2) HACCP 認証の衛生管理手法の実践 (3) 全国和牛能力共進会北海道大会へ向けた事業の推進	B	○地域と連携した未利用資源への理解深化と商品開発を実践する。 ○HACCP の衛生管理を地域へ広める活動を行う。 ○地域の小中学校への食育授業や先進農家視察を実施する。
III 地球環境を 守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 農業科目内での環境に配慮した教育の実践 (2) 課題研究「環境専攻班」によるプロジェクト活動の推進	A	○農業教科全体で持続的な農業を推進し、環境を守るための共通認識を図る。 ○地域の防風林の保全などを通して、地域環境を守る。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) ふるさと納税を活用した地域振興 (2) 新たな食材の開発・試作 (3) 地域の観光資源の発掘	B	○ふるさと納税の取組を行政と連携し行う。 ○シーベリー等の地域食材を活用した商品を開発する。 ○士幌町の魅力を伝えるための情報を発信する。
IV 地域交流の 拠点となる学校	7 「Society5.0 の時代に合った教育」を行います。	(1) 地域の魅力を発信する取組の実践 (2) ICT の農業分野への効果的な活用の探究	B	○地域イベントへの参加により地域振興に貢献する。 ○情報端末の積極的な活用により、最先端技術の知識技術を習得し、探究的な学びを支援する。
V 地域防災を 推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 避難訓練等を通じた地域の防災意識の醸成	A	○防火避難訓練やシェイクアウトなどの訓練を実施して、防災意識の醸成を図る。